

南海電鉄グループ 中期環境目標(2021年度～2024年度)

環境課題	中期環境目標と主要施策	2021年度の達成目標	2024年度までの達成目標	関連するSDGs
1. 地球温暖化の抑制	南海グループのCO ₂ 排出量の削減 2030年度46%以上削減(対2013年度) ●車両の省エネ化・更新(鉄道・バス) ●所有不動産・流通施設での省エネ施策の推進(グリーンビルディングへの転換・空調設備更新など) ●新規取得物件のエネルギー有効活用	●CO ₂ 排出量 28%削減(対2013年度)	●CO ₂ 排出量 32%削減(対2013年度)	 
	再生可能エネルギーの活用 ●鉄道・その他事業活動への再生エネルギーの導入、活用	●鋼索線へのCO ₂ フリー電力の導入による運行	●鉄道並びに不動産・流通施設への再生エネルギーの導入、活用	 
2. 循環型社会の実現	沿線におけるスマートシティ形成に向けた準備 ●駅を拠点としたまちづくりの一環として、なんばエリアまたは沿線におけるスマートシティ形成に向けた準備	●沿線におけるスマートシティ形成に向けた事業モデルの検討	●沿線におけるスマートシティ形成に向けた事業モデルの具体化	  
	資源の有効利用と廃棄物の3Rの推進 ●南海グループの水の使用量の削減 ●資源の有効活用と廃棄物の3Rの推進	●取水原単位 2%削減(対2019年度) ●廃棄物の把握(連結) ●廃棄物のリサイクル率の集計 ●本社事務所の紙使用量 50%削減(対2019年度)	●取水原単位 5%削減(対2019年度) ●特定の廃棄物のリサイクル率 3%向上(対2021年度) ●本社事務所の紙使用量 70%削減(対2019年度)	 
3. 生物多様性の保全	沿線エリアでの生物多様性の保全 ●「多奈川ビオトープ」「パークスガーデン」での保全活動実施と取り組み成果の情報発信 ●サプライチェーンからのグリーン調達推進 ●環境イベントの開催	●「多奈川ビオトープ」生態系に合わせたゾーン分けとその特性を活かした維持管理 ●新規取引先へのグリーン調達ガイドライン周知と環境に対する取り組み状況の確認、確認済み取引先への改善協力要請 ●一般向けイベント開催(年間3回)	●「多奈川ビオトープ」自然再生進捗指標の生物生息環境創出 ●すべての取引先へのグリーン調達ガイドライン周知と取り組みレベルの改善要請完了 ●一般向けイベント開催(年間4回)	 
4. 環境マネジメントの深度化	気候変動リスクの分析と開示 ●TCFD提言への賛同・開示 ●CDP設問項目に対する取り組み推進と適切な情報開示	●TCFDシナリオ分析実施 ●CDP評価 B(気候変動)	●TCFD提言に沿った情報開示 ●CDP評価 A-(気候変動)	
	ISO14001認証と同等に評価される環境マネジメントシステムの自主的運用開始 ●ISO14001規格と同水準の主体的な環境マネジメントシステム運営体制への移行	●ISO14001認証の下で運用改善に向けた課題への対応 ●主体的な環境マネジメントシステム運営体制への移行計画策定・準備	●ISO認証と同水準の環境マネジメントシステムの自主的運用	 
	従業員の環境保全意識の向上と環境法令順守の徹底 ●環境ボランティア活動(ECOニストプログラムの推進(プログラムの開発・改善) ●環境法令順守のための管理体制構築(グループ)	●ECOニスト認定100名、ECOニストアドバンス認定35名、eco検定合格30名、活動参加を促すプログラムの開発・改善検討 1件 ●管理体制構築完了 20社	●ECOニスト認定100名、ECOニストアドバンス認定35名、eco検定合格30名、活動参加を促すプログラムの開発・改善検討 1件 ●管理体制構築完了 55社(グループ全社)	 
5. グリーンビルディングの拡大	環境配慮型建物(グリーンビルディング)の拡大 ●環境・社会への配慮がなされた不動産に対する認証を受ける環境配慮型建物(グリーンビルディング)の拡大	●不動産事業の進捗に合わせた環境配慮型建物の拡大	●新規開発物件における認証取得	 
6. 適切な情報発信	統合報告書の発行 ●統合報告書に必要な開示推奨事項の策定と発行	●統合報告書2021(仮称)の発行「マテリアリティとKPI」「価値創造プロセス」「ESG開示項目」の策定と掲載	●統合報告書2024(仮称)の発行「KPIの進捗状況」「ESG開示項目」の充実	
その他	さまざまな環境活動の実施 ●なんかいの森を活用したオフセット・クレジットの取得と活用	●オフセット・クレジットを活用した企画商品の立案・実施	●2,500tのクレジット取得とその効果的な活用	 